

子ども・子育て支援事業計画の進捗状況について

1. 計画の趣旨

江別市子ども・子育て支援事業計画「えべつ・安心子育てプラン（以下「プラン」という。）は、市が展開するさまざまな子育て関連施策の充実を図り、子育て環境を整備することにより、江別市の子どもが健やかに育ち、親が安心して子どもを産み、育て、就業と子育ての両立ができる社会の実現のため、5か年の基本目標や取り組みを取りまとめたものです。

（平成27年3月策定 計画期間：平成27～31年度）

2. 計画の位置づけ

- ・ 子ども・子育て支援法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」
- ・ えべつ未来づくりビジョン〈第6次江別市総合計画〉の個別計画

3. 基本目標

プランにおいては、基本理念「みんなで協力、子育て応援のまち・えべつ」を実現するために、次の3つの基本目標を柱として総合的に施策を展開しています。

- ① 「子どもが笑顔で育つ」まちづくり【子ども自身の育ちを支援】
- ② 「安心して子どもを産み育てる」まちづくり【子育て家庭への支援】
- ③ 「子育てを地域で応援する」まちづくり【子育て環境の充実】

4. プランにおける量の見込みと提供体制の状況

各施策、事業等の量の見込みと提供体制の状況は、以下のとおりです。

（1）幼児期の教育・保育の提供体制等の状況

（単位：人）

区 分	平成27年度			
	1号認定 幼稚園 (教育)	2号認定 (保育)	3号認定 (保育)	
	3-5歳		0歳	1-2歳
プランにおける量の見込	1,650	739	151	478
プランにおける提供体制(A)	2,038	688	113	350
実績【利用定員】(B)	2,045	688	110	374
(B)-(A)	7	0	▲ 3	24

（参考）

H29. 3.31 利用定員	1,936	707	111	402
H29. 4. 1 利用定員	1,874	744	134	471
プラン最終年度(H31)提供体制	1,766	794	157	462

幼稚園の認定こども園への移行（1施設）や認可外保育施設の小規模保育施設への移行（3施設）等により、前年度と比較して2号及び3号の保育認定の利用定員が76人増加しました。

この結果、プランとの比較では、教育認定（幼稚園含む）及び保育認定の提供体制ともに概ね充足している状況にあります。

今後とも、プランとの整合を図りつつ、待機児童の状況を把握しながら、提供体制の確保に努めてまいります

（2）地域子ども・子育て支援事業の提供体制等の状況

①利用者支援事業

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	箇所	2	2	0

商業施設内の子育てひろば「ぽこあぽこ」及び市役所子育て支援室内に専任の職員2名を配置し、子育てサービスや教育・保育施設の利用相談等、様々な子育て相談に対応しています。

このほか、地域あそびのひろばや保健センターを会場に実施している出張相談等も行っています。

②地域子育て支援拠点事業

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込	人(月)	6,600	9,322	2,722
提供体制	箇所	7	7	0

公設・民間合わせて7か所の子育て支援センター（江別地区2施設・野幌地区3施設・大麻地区2施設）において、親子の交流、遊びの場の提供、子育て相談、講習会等の事業を行っており、地域への浸透とともに利用者が増加しています。

今後も、民間施設の運営支援を行うとともに、公設の事業内容を充実することで、地域における子育て支援を進めてまいります。

③妊婦健康診査

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込	人(年)	699	676	▲ 23
提供体制	回	9,786	7,653	▲ 2,133

④乳児家庭全戸訪問事業

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	人(年)	688	655	▲ 33

出生数の減少とともに、妊婦健康診査、乳児家庭全戸訪問事業ともに減少しています。

いずれも妊婦や乳児の健康状態や生活状態を把握して適切な支援につなげるための重要な事業であるため、関係機関とも連携しながら、適切な事業実施に努めてまいります。

⑤養育支援訪問事業

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	人(年)	181	208	27

⑥子育て短期支援事業（ショートステイ事業）

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	人(年)	61	66	5

子どもの養育や経済的困窮に関する相談等、家庭相談件数が増えている中で、養育支援訪問事業、子育て短期支援事業ともに若干増加しています。

今後も、様々な家庭相談に丁寧に対応する中で、適切なサービスを提供してまいります。

⑦ファミリー・サポート・センター事業

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)－(A)
量の見込 提供体制	人(週)	59	30	▲ 29

子育て支援に関する援助を依頼する会員と提供する会員の子育て応援の仕組みとして、有償ボランティアにより実施していますが、利用は減少しています。

今後は、事業内容の周知をさらに充実すること等により、利用の拡大につなげてまいります。

⑧一時預かり事業

【幼稚園】

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)－(A)
量の見込 提供体制	人(年)	69,326	82,430	13,104

【幼稚園以外】

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)－(A)
量の見込 提供体制	人(年)	8,752	8,468	▲ 284

⑨延長保育事業

区分	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)－(A)
量の見込 提供体制	人	634	631	▲ 3

働きながら安心して子育てをしたいというニーズの増大とともに、幼稚園の一時預かりは大幅にプランを上回り、幼稚園以外の一時的預かり及び延長保育も概ねプランどおりの利用となっています。

今後も、多様な働き方を支える保育環境を提供するため、実施施設の拡大を検討してまいります。

⑩病児・病後児保育事業

	単位	平成 27 年度		
		プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込 提供体制	人(年)	1,083	1,664	581

市内保育施設(1箇所)の運営の一部を補助することにより、子どもの病中及び病後の保育を提供しており、診療所に併設していることや1日15名まで受け入れ可能であることなどから認知が進み、プランの見込みを大幅に超えて利用されています。

今後は、利用実態等を把握する中で、事業のあり方を検討してまいります。

⑪放課後児童クラブ

		単位	平成 27 年度		
			プラン(A)	実績(B)	(B)-(A)
量の見込	低学年	人	586	642	56
	高学年	人	103	36	▲ 67
提供体制【利用定員】		人	673	677	4

小学生の子を持つ保護者の就労支援とともに、放課後の児童の生活の場の確保及び健全育成を目的として、公設及び民設により放課後児童クラブを実施しています。

平成27年度は、1施設が新規開設されたことにより、前年度に比較して利用定員が25人増加しました。

今後とも、プランとの整合を図りつつ、待機児童の状況を把握しながら、提供体制の確保に努めてまいります。

5. まとめと今後の展開

- ・ 平成27年度においては、少子化が進んだことにより妊婦・新生児に関する事業が計画を下回ったものの、全体的には概ね計画どおりに推移しています。
- ・ 今後においては、計画との整合性を図りつつ、子どもを取り巻く環境・社会情勢の変化に柔軟に対応しながら子育てに関する施策を展開してまいります。
- ・ 平成29年度は計画の中間年に当たることから、見直しの必要性について検討してまいります。

6. その他

関連する主な事業の状況は、別紙のとおりです。